

## インテリジェント・メカトロニクス(東芝) 寄付研究部門

本寄付研究部門は、株式会社東芝からの申し込みに基づき、平成3年10月から平成6年9月までの3年間設置されました。その目的は、機械工学と電気・電子工学とが融合した新しい工学の領域として発展したメカトロニクスに関する先進的な研究を基礎と応用の両面から総合的に行い、メカトロニクスの高度化と知能化を図ることでした。

本寄付研究部門設置が議論されていた当時、世の中では「インテリジェント」に対してはまだマイナスイメージが先行していましたが、研究レベルでは「インテリジェント」化を支える要素技術の進歩は認識されていました。そこで新しいディスプレイとして研究を意識的に進める必要性を議論し、本寄付研究部門の内容が決められました。

本寄付研究部門の活動を通して「インテリジェント」化の重要性が新たに認識され、「メカトロニクス」と結びついた「インテリジェント・メカトロニクス」がひとつの分野として認められるようになりました。その成果は大きく、現在多くの若い研究者がこの分野に興味を持ち積極的に研究を進めています。

本寄付研究部門の担当教官は5名からなり、いずれも多く成果を残され、現在も活発に活動されています。

**富塚 誠義** (客員教授) [1991年12月から1992年8月] 制御工学, メカトロニクス. MIT 機械工学科博士課程修了 (Ph.D), 現 カリフォルニア大学バークレイ校機械工学科教授

**Ren C. Luo** (客員教授) [1992年9月から1993年8月] センサフュージョン, ロボット. ベルリン工科大学電気工学科博士課程 (Ph.D), 現 台湾国立中正大学電気工学科教授

**John H. Moore** (客員教授) [1993年9月から1994年3月] 制御, システム及び信号処理理論. サンタ・クララ大学電気工学科博士課程 (Ph.D), 現 オーストラリア国立大学システム工学科教授

**Hannes Bleuler** (客員教授) [1991年10月から1994年9月] メカトロニクス. スイス連邦工科大学 (Ph.D), 現 ローザンヌ工科大学ロボットシステム学科教授

**Vadim I Utkin** (客員教授) [1994年4月から1994年9月] 制御工学, メカトロニクス. モスクワ自動制御研究所 (Ph.D), 現 オハイオ州立大学機械工学科教授

(平成11年1月 橋本 秀紀)